

第2次

南丹市 環境 基本計画



(地球温暖化対策実行計画(区域施策編)含む)

2021～2030年度

概要版

南丹市

計画について

南丹市環境基本計画とは

南丹市環境基本計画とは、南丹市美しいまちづくり条例に基づき、南丹市の環境を保全するための具体的な方針や指針などをとりまとめた計画です。

本計画では、本市の地球温暖化対策の指針をとりまとめた計画「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を一体としてとりまとめることで、環境保全と地球温暖化対策両方を効率的に進めます。

計画の期間

本計画の期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。また、5年を目途に必要な応じ計画の見直しを行います。



計画とSDGsの関係について



資料:国連広報センター「持続可能な開発目標(SDGs)」

SDGsとは、平成27年9月に国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットで構成される国際社会共通の目標のことです。

本計画では、このSDGsの実現を目指す視点を踏まえて施策を推進します。

目指す環境像

豊かな自然と人を守り育むまち 南丹

～住み続けたい・住みたいまちづくりを目指して～

これまで本市が育ててきた環境や人のつながりを市内外にも広げることで、環境を軸としたまちの発展を目指すとともに、国が掲げる地域循環共生圏や南丹市総合振興計画で掲げる重点テーマ「住み続けたいまち・住んでみたいまち」の実現に貢献します。

施策の体系

本計画では、市民・事業者・市の各主体の方針を示した「主体別の取組」と各地域での方針を示した「地域別の取組」の2つの視点から、本市の目指す環境像の実現を目指します。

目指す環境像

豊かな自然と人を守り育むまち 南丹

～住み続けたい・住みたいまちづくりを目指して～

基本目標等

主体別の取組

人づくり

生活環境

地域環境資源

資源循環

地球環境※

重点プロジェクト

地域別の取組

園部地域

八木地域

日吉地域

美山地域

※地球環境は、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を包括

重点① なんとん環境の人づくりプロジェクト

重点② まるごと体験・学習ツーリズムプロジェクト

※地域別の取組の詳細については、市ホームページに掲載している計画書(p46～)をご確認ください。

環境像の実現に向けた市の取組

基本目標1 人づくり



今ある環境を良くするにはどうすべきか自ら考え、進んで行動する人材を育成し、市内外の結びつきの強化を目指します。

関連するSDGs



基本方針1

環境に優しい地域づくり・人づくりの推進

子どもたちに対する環境教育や学習の内容・教材の充実に努めます。

「南丹市の環境を守り育てる会」をはじめとする環境保全活動に取り組む市民や事業者、団体などに対し、活動支援や連携強化を進めます。

基本方針2

環境情報の共有

環境に関する最新の情報収集に努め、広報誌や市のLINEなど様々な媒体を用いて環境情報を発信します。

基本目標2 生活環境



良好な大気や水など生活環境が確保され、ごみのポイ捨てがない安全・安心で快適なまちづくりを目指します。

関連するSDGs



基本方針1

安心安全に暮らせる生活環境の保全

府と連携して大気や水、騒音、土壌など環境リスクのモニタリング・結果の公表を行います。

水環境の保全に向けて、市民や事業者に公共下水道や集落排水、浄化槽への接続を呼びかけます。

基本方針2

ごみのポイ捨て・不法投棄のない美しいまちづくりの推進

ごみのポイ捨て防止、ごみの持ち帰りなど環境美化の取組を強化します。

府や警察などと連携して、不法投棄防止に向けた看板や監視カメラの設置など対策を強化します。

基本方針3

心が安らぐまちなかの緑の保全・創出

公園や緑地の整備、機能の充実に努めます。

身近な公園や公共用地においては、市民や企業などと連携した緑化や緑の維持管理を進めます。

基本目標3 地域環境資源



人と自然、人と歴史文化が共生し、様々な恵みが将来にわたって守り育まれるまちづくりを目指します。

関連するSDGs



基本方針1

自然環境の保全・活用

府や関連機関、地域住民などと連携して、森林や農地、河川など本市の豊かな自然環境の保全に努めます。

また、事業活動による無秩序な森林・農地開発の防止に向けて、啓発や指導などを行い、周辺の環境と調和した環境を保全します。

基本方針2

生物多様性の保全

府や教育機関、地域住民などと連携して、貴重な動植物の保全に努めます。

計画的な有害鳥獣の捕獲を支援するなど、農林水産業などへの被害の防止に努めます。

外来種に関する正しい知識の普及啓発に努めるとともに、府と連携しながら外来種の分布拡大や侵入防止に努めます。

基本方針3

歴史文化・景観の保全・活用

かやぶき民家群を始めとする歴史文化遺産の保存に努めるとともに、観光や環境学習の場として活用を進めます。

空き家の有効活用や空き地の管理の指導などにより、景観の悪化を防ぎます。

基本方針4

地域資源を活用したまちづくりの推進

地域循環共生圏^{※1}の意味や具体的な取組について学ぶ機会を設け、市民や子どもたちの意識啓発に努めます。

国立公園を始めとする地域にある資源や地域住民・関係者の知見・経験を最大限活かし、観光や体験、ツーリズム^{※2}などを進め、地域内外の経済・人・資源などの循環を進めます。



地域循環共生圏

環境対策を進める上で地方と都市が互いに足りないものを補い、地域を元気にするような取組が行われている圏域のこと。



ツーリズム

自然環境や歴史文化などの地域資源を活かした体験活動や観光を通して、地域の自然や歴史文化、環境保全への理解を深めようという考え方のこと。

環境像の実現に向けた市の取組

基本目標4 資源循環



プラスチックの分別・資源化や食品ロス削減を始めとする資源循環に関する意識や行動が定着し、循環が進んだまちづくりを目指します。

関連するSDGs



基本方針1 3Rの推進

市民や事業者への啓発に努め、ごみを出さないライフスタイルや事業活動の実践を進めます。

使い捨てのプラスチック容器・包装・製品の使用を減らし、マイバッグやマイ箸、マイボトルの普及啓発を進めます。また、プラスチックの資源化に向けて、プラスチックの分別回収やリサイクルの徹底を周知啓発します。

食品ロス削減につながる取組について情報を発信し、市民や事業者の意識啓発に努めます。

基本目標5 地球環境



環境に配慮した行動や事業活動が定着し、地球温暖化対策が進んだまちづくりを目指します。

関連するSDGs

地球温暖化対策実行計画
(区域施策編)を包括



基本方針1 地球温暖化 対策の推進

環境保全施策1
地球温暖化対策実行計画
(区域施策編)の推進

省エネルギーにつながる行動や設備の情報を発信し、市民や事業者の意識啓発に努めます。

市民や事業者に対して、廃食油の回収や生ごみの堆肥化、薪ストーブの利用など、バイオマスの利用を促します。

ZEH や ZEB、スマート・エコハウスの情報を発信し、導入を進めます。

環境保全施策2
地球温暖化対策実行計画
(事務・事業編)の推進

地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、率先して公共施設に省エネルギー設備や再生可能エネルギーの導入を進めます。

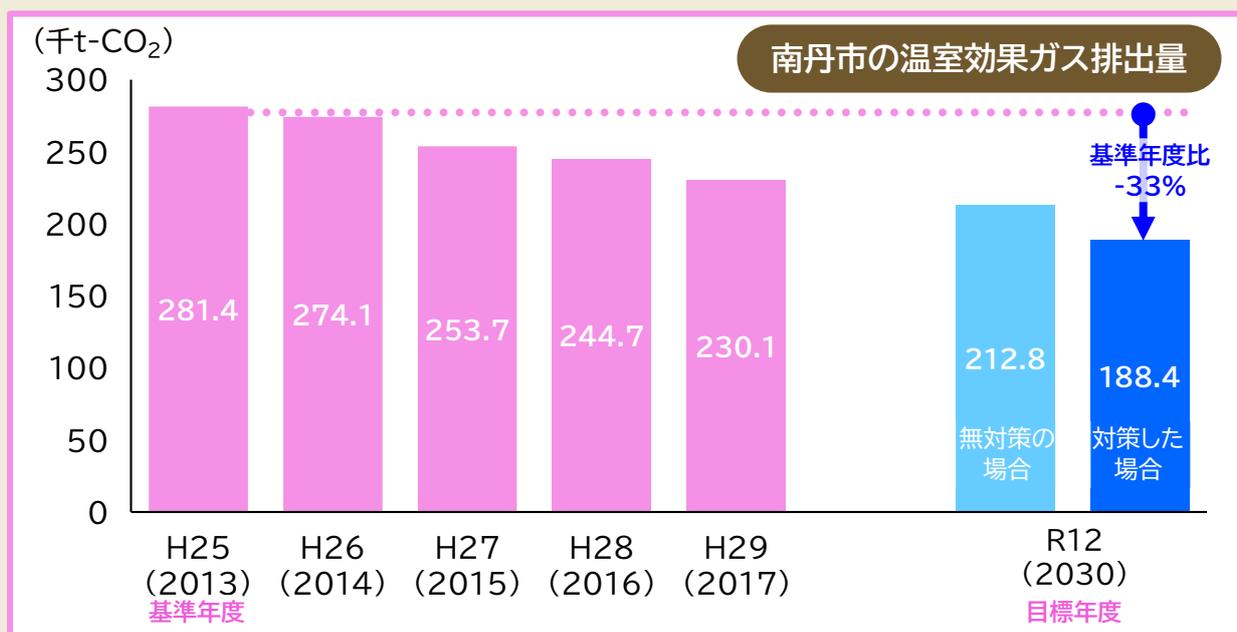
地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

温室効果ガスの削減目標

令和12(2030)年度の本市の温室効果ガス排出量を、基準年度である平成25(2013)年度比で**33%以上削減**することを目指します。

また、中長期的な目標としては、国や府の「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指す」宣言と整合を図り、本市においても2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指すこととします。

令和12(2030)年度の本市の温室効果ガス排出量を、
基準年度 平成25(2013)年度比で**33%**以上削減することを目指します。



--- どうして温室効果ガスを減らす必要があるの? ---

今、世界各地で温室効果ガスが増加し、気温の上昇、異常気象の頻発・激甚化など気候変動の影響が現れています。

南丹市の温室効果ガス排出量は減少傾向にありますが、今後、気温の上昇や異常気象の頻発・激甚化、私たちの食べ物や健康にも様々な影響がでる可能性が予測されており、その影響は何も対策をしないと更にひどくなる可能性もあります。

こうした気候変動の影響に対し、私たち一人ひとりが、温室効果ガスの排出を抑制する対策「**緩和策**」と、被害をなるべく少なくする対策「**適応策**」をバランスよく進めていくことが重要です。

重点プロジェクト

なんたん環境の人づくりプロジェクト

小中学生や市民と環境について話し合う場として「**小中学生 環境・まちづくり会議**」や「**南丹市環境パートナーシップ会議**」を運営し、協力・連携体制を強化します。

また、**出前講座の開催**や**様々な媒体による情報発信**を通じて環境保全に携わる人材の育成や意識の醸成につなげます。



まるごと体験・学習ツーリズムプロジェクト

本計画の上位計画である「**第2次南丹市総合振興計画**」に示されている環境との関連性が高いプロジェクト「**まるごと体験交流ツーリズムプロジェクト**」、「**バイオマスを中心としたグリーンプロジェクト**」の推進に向けて、地域環境資源の活用やエネルギー資源の地産地消、バイオマスを活用した交流や環境学習などを進めます。

私たちにできること

市民

- 環境に関するイベントや学習、保全活動の場に参加しましょう。
- 保有する山や田んぼ、畑を適正に管理しましょう。
- 地域の歴史や文化に興味を持ち、その保存・継承に参加・協力しましょう。
- 地元の食材や食品の購入や利用など地産地消を心がけ実践しましょう。
- プラスチックや雑紙の分別などにより、ごみの減量化に努めましょう。
- 家電などを買い替え・新規購入する時は、省エネルギー性能の高い製品を選びましょう。
- 夏場は緑のカーテンづくりに努めましょう。



事業者

- CSR(社会貢献活動)を推進するとともに事業の環境情報を公表しましょう。
- 自然環境や周辺の景観に配慮した事業活動や土地利用を行いましょう。
- 廃棄物は適正に分別・処分し、不法投棄はやめましょう。
- 飲食店や店舗では地元産物の利用や販売など地産地消を心がけましょう。
- 食べきりメニューの設定やお客に3010運動への協力を促すなど、食品ロスの削減に取り組みましょう。
- クールビズやウォームビズ、環境マネジメントシステムの取得など、環境にやさしい事業活動を行いましょう。



計画の推進

市民、事業者、市などが連携・協力して計画の効率的な推進に努めます。計画の進捗状況は、「南丹市年次報告書」を作成し、市のホームページで公表します。